

明石市議会における
議員定数及び議員報酬について

(中間報告)

平成 2 4 年 1 0 月
明石市議会活性化特別委員会

はじめに

平成 23 年度に、議長の諮問機関である明石市議会活性化推進会議が設置され、議会基本条例、議員の報酬及び定数等をはじめとする議会活性化に関する調査検討を行い、答申がなされました。

その答申に基づき、平成 24 年 3 月には明石市議会活性化特別委員会が設置され、議会基本条例の制定、議員報酬及び定数等について慎重に議論を重ねています。

このたび、下記の通り、議員定数及び報酬についての中間報告を取りまとめました。

1 議員定数について

明石市議会の議員定数の変遷

- ・昭和 30 年 5 月 1 日に、財政再建団体からの脱却の取り組みの一環として、議員定数を 36 人から 24 人に減員する減員条例を制定した。
- ・昭和 46 年 5 月 1 日には、市の財政状況の改善及び市の規模の拡大に伴い、減員条例を改正し、24 人から 33 人に 9 人増員した。
(4 常任委員会 × 8 人 + 議長 = 33 人)
- ・平成 15 年 5 月 1 日には、市の行財政改革の取り組みにあわせ、議会としての努力を示すため、定数を 2 人減員し、現行の 31 人となっている。

(資料 1) 明石市議会の議員定数の変遷

議決日	議員定数 (条例定数)	適用年月日	改定理由	市人口	法定定数 (上限定数)
昭和 30 年 2 月 18 日	36 人 24 人	昭和 30 年 5 月 1 日	財政再建団体からの脱却の取り組みの一環	120,697 人	36 人
昭和 45 年 12 月 21 日	33 人	昭和 46 年 5 月 1 日	市の財政状況の改善及び市の規模の拡大にあわせて改正	210,143 人	44 人
平成 15 年 3 月 28 日	31 人	平成 15 年 5 月 1 日	市の行財政改革の取り組みにあわせて改正	291,598 人	38 人

人口は、定数条例の適用年の 4 月 1 日基準

地方自治法に定める議員定数の取り扱いの変遷

- ・地方自治法においては、平成 15 年 1 月までは、人口区分ごとに法定定数が定められていた。
- ・昭和 30 年の本市人口は約 12 万人であり、法定定数は 36 人であった。
- ・昭和 45 年の本市人口は約 21 万人であり、法定定数は 44 人であった。
- ・平成 15 年 1 月からは、人口に対応した上限定数が定められることとなり、議員定数を条例で定める条例定数制度に改められた。人口約 29 万人の本市の法定上限定数は 38 人であった。
- ・平成 23 年 8 月には、議員定数の上限が撤廃された。
- ・なお、明石市においては昭和 30 年 5 月から平成 23 年 8 月まで、法定定数(上限定数)よりも少ない議員定数を条例で定めていた。

市民アンケートの結果(議員定数に関する回答)から

平成 23 年 12 月に実施した市民アンケート[満 20 歳以上 3,000 人抽出。回答数 1,469 人(回答率 48.9%)]によると、議員定数、報酬に関するアンケート結果は、下記のとおりとなっている。

(資料 2) 議員定数についての回答

ア) 市議会議員の人数の認知度

知っている	412 人	28.1%
知らない	1,029 人	70.0%
無回答	28 人	1.9%

イ) 市議会議員の人数に対する評価

今までのままでよい	271 人	18.5%
多い	622 人	42.3%
少ない	9 人	0.6%
わからない	533 人	36.3%
無回答その他	34 人	2.3%

ウ) イ)で、多い又は少ないを選んだ人が適当と思う議員数

30人以上	19 人	3.6%
26人~29人	64 人	12.2%
25人	155 人	29.5%
21人~24人	20 人	3.8%
20人	151 人	28.8%
19人以下	116 人	22.1%

- ・議員定数については、知らない人が1,029人(70.0%)であり、議員定数は今のままでよいと答えた人が271人(18.5%)、多いと答えた人が622人(42.3%)、少ないと答えた人が9人(0.6%)、わからないと答えた人が533人(36.3%)である。
- ・上記の議員定数が多いまたは少ないと答えた人のうち、定数25人が適当であると答えた人が155人(29.5%)、定数20人が適当であると答えた人が151人(28.8%)の順に多くなっている。
- ・市議会活動に不満がある人、市議会議員活動を評価しない人ほど、定数が多いと答えた割合が高くなっている。

議員定数の検討の論点

特別委員会では、議員定数を検討するに当たり、昨年12月に実施した市民アンケート結果のほか、県内29市及び特例市40市の状況調査(議員定数、人口、面積、財政規模、常任委員会の運営等)に基づく他市との比較を行った。

その結果、以下の7項目の論点に絞って、検討を進めている。

【議員定数の検討の論点】

- 論点1 人口規模に応じた定数について
- 論点2 委員会審査の充実について
- 論点3 市政運営に対する監視機能強化について
- 論点4 県内各市、特例市との比較について
- 論点5 市の財政状況から見た定数について
- 論点6 市民意見の反映について
- 論点7 小学校区などの市域に応じた定数について

改正前の地方自治法では、人口規模に応じて、段階別に定数上限が定められていた。多様な市民意見を反映するためには、人口規模に応じた議員数が必要であると考えられることから、人口規模に応じた定数を論点としている。

【現 状】

- ・明石市と人口規模に近い市（人口 20 万人以上 30 万人未満の 45 市）の議員定数の平均は 32.6 人であり、明石市の定数 31 人は平均以下となっている。
- ・特例市 40 市の議員定数の平均は 32.2 人であり、明石市の定数は平均以下となっている。
- ・本市の議員一人当たりの人口は 9,371 人であり、県内 29 市中 5 位、特例市 40 市中 11 位となっている。
- ・議員一人当たりの人口については総人口に比例して増加する傾向にあるが、特例市 40 市の平均は 8,310 人であり、明石市は定数が平均値より低いために、議員一人当たりの人口は多くなっている。

〔用語解説〕 特例市とは

人口が 20 万人以上の市に対して一定の権限を委譲する制度で、騒音などの環境規制や都市計画に関する事務が委譲される。現在、明石市をはじめ、甲府市や福井市など全国で 40 市が特例市に移行している。

【特別委員会での意見】**定数減に関連する意見**

- ・明石市の議員定数は他市に比べて多いものではないが、議員一人当たり 1 万人、言い換えれば、人口 1 万人当たり議員 1 人とする定数 29 人が市民に分かりやすいのではないかと。（多数意見あり）
- ・小学校区は地域コミュニティの拠点となっており、また、議員活動の一つの基盤ともいえる。各小学校区の人口が大体 1 万人前後であることを考慮し、人口 1 万人当たり議員 1 人とする根拠と考える。

現状維持に関連する意見

- ・人口1万人当たり議員1人とする説明は、根拠としてはわかりやすいが、現在の市政の状況からすると、議会の監視機能や民意の反映が低下するため、定数は減らすべきではない。
- ・人口1万人当たり議員1人+正副議長を現状の31人の根拠としてはどうか。
- ・現在の定数で選挙での競争性も図られており、運営上も問題なくやっている。少数意見を反映する意味でも現状が妥当ではないか。

定数増に関連する意見

- ・人口5,000人当たり議員1人と考え、定数を増加するかわりに、報酬を大幅に削減(全議員の報酬総額は現状程度か減額)することも考えられる。
- ・複雑多様化する市民ニーズに対応し、少しでも多くの市民の声を反映するには、定数を増やすべきではないか。
- ・明石市議会では、現状では2000票以上取らないと議員になれないが、多くの市民意見を反映させるためにはハードルが高いのではないか。

その他の意見

- ・人口1万人当たり1人が望ましい姿かどうか、まだ判断できない。

(資料3) 人口段階別の全国の市議会議員定数の状況

(平成23年12月31日現在)

人口段階(人)	市数(市)	議員定数の平均(人)
5万人未満	254	19.0
5~10万人未満	265	22.7
10~20万人未満	159	27.4
20~30万人未満	44	32.6 (最低 26)(最高 45)
30~40万人未満	26	37.6
40~50万人未満	21	41.7
50万人以上	13	47.1
政令指定都市	19	61.5

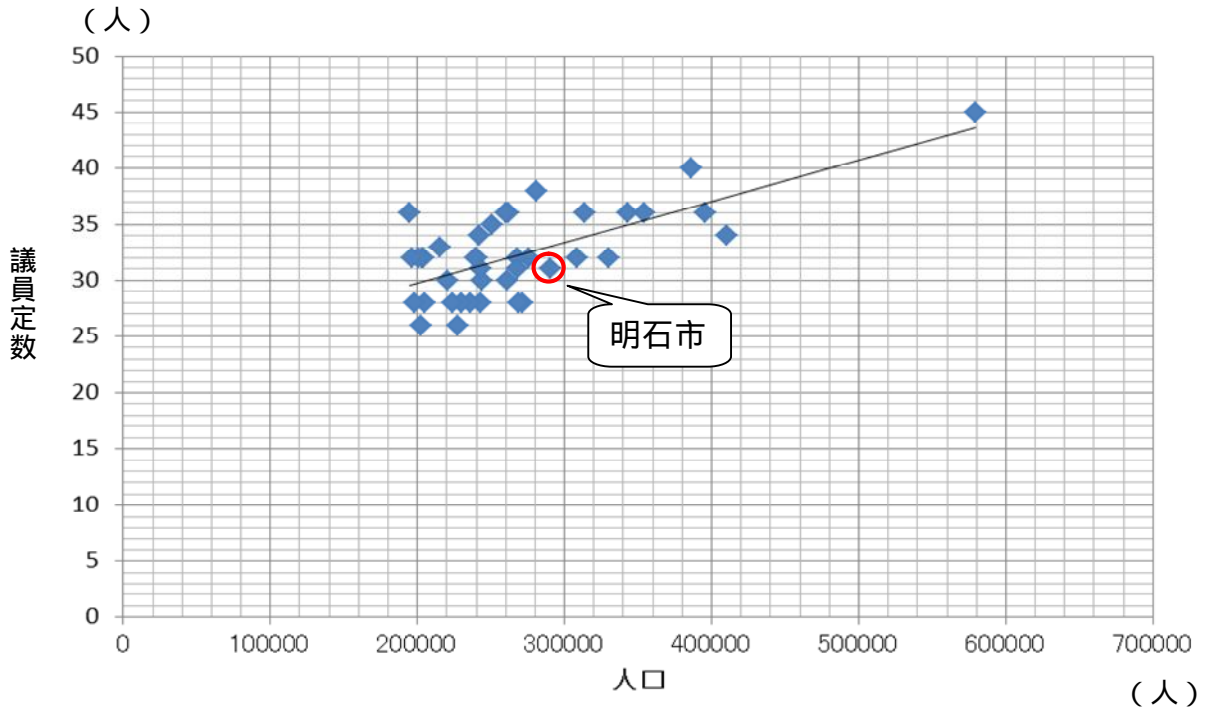
(調査対象：全国809市のうち、合併特例法を適用していない801市)

【全国市議会議長会調査資料より】

(資料4) 特例市 40 市における市会議員定数の状況

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

人口	市数	議員定数の平均(人)
19~57万人	40市	32.2人 (最低 26人)(最高 45人)



〔特例市 40 市における人口別の議員定数の分布図〕

明石市議会においては、委員会審査を中心とする議会運営を行っている。

委員会審査の内容を低下させず、より活発な審査を行うためには、委員会のあり方や委員会数、委員会での議員間討議が行える委員数等を踏まえた議論が必要であることから、議員定数を考える上で委員会審査の充実を論点としている。

【現 状】

- ・明石市は、現在 4 常任委員会で構成されており、委員定数は 3 常任委員会
が 8 人、1 常任委員会が 7 人である。
- ・人口が 20 万人以上 30 万人未満の市における常任委員会の数の平均値は、
3.9 委員会である。人口が多くなるにつれて、委員会数は増加している。
- ・特例市では、ほぼ 8 割が 4 常任委員会制度をとっており、委員定数の平均は
8.5 人（最小 7 人、最大 12 人）である。
- ・平成 23 年の特例市 40 市における常任委員会の審査状況は、平均年間開
催日数は 36.8 日、平均年間開催時間は 58 時間 35 分となっている。
- ・平成 23 年の明石市における常任委員会の審査状況は、年間開催日数は 26
日、年間開催時間については、委員会ごとに差はあるが、最少 12 時間 38
分（総務常任委員会）、最大 23 時間 47 分（建設企業常任委員会）であり、
年間開催時間の合計は 75 時間 09 分となっている。
- ・明石市の常任委員会（委員協議会を含む）の年間開催時間については、概
ね増加傾向にあり、10 年間で 59 時間 50 分から 77 時間 50 分（最大
は平成 21 年の年間 83 時間 19 分）と約 20 時間以上増加している。

【特別委員会での意見】

定数減に関連する意見

- ・現在の 4 常任委員会制のままで、議員が複数の委員会に所属しないとする
なら、7 人 × 4 委員会 + 議長で 29 人となる。
- ・3 常任委員会制に改編すると、8 人 × 3 委員会 + 議長で 25 人となる。
- ・議員の数を減らしたら、議員活動の密度が濃くなり、少数精鋭になるの
ではないか。

定数増に関連する意見

- ・委員会審査の充実の観点からは、現在の 4 常任委員会制のままで、8 人 ×
4 委員会 + 議長で 33 人、もしくは 9 人 × 4 委員会 + 議長で 37 人とする
ことが考えられる。

その他の意見

- ・議員定数は、活発な委員会審査を行うための委員会のあり方とセットで議論すべき。定数見直しにこだわるのではなく、適正な委員数から考えるべきであり、その結果、減員することもあるれば、増員することもある。
- ・監視機能を強化するためにも、審査を十分に行うために必要な委員会の構成人数を検討する必要がある。
- ・現在でも、審査項目が多い委員会がある。審査する事務事業の数、審査内容等を考えると、現在の4常任委員会制は保持すべきである。
- ・常任委員会の複数所属を可能にし、委員会の委員数を確保することは理論的には可能である。しかし、閉会中の委員会の開催も増加していることから、複数の委員会に所属するのは負担も大きく、審査内容を充実させるためには複数所属は困難ではないか。
- ・委員会審査を理由とする議員定数の理屈付けは、市民にはわかりにくいのではないか。

(資料5) 人口段階別の全国の常任委員会の数

(平成23年1月1日～12月21日 全国809市のうち807市)

人口段階(人)	平均委員会数
5万人未満	2.9委員会
5～10万人未満	3.3委員会
10～20万人未満	3.8委員会
20～30万人未満	3.9委員会
30～40万人未満	4.3委員会
40～50万人未満	4.5委員会
50万人以上	5.3委員会
政令指定都市	5.7委員会

【全国市議会議長会調査資料より】

(資料6) 特例市 40 市における常任委員会の設置状況

(平成 23 年 1 ~ 12 月)

委員会数	3 委員会	4 委員会	5 委員会	6 委員会
割合	12.5% (5 市)	82.5% (33 市)	0% (0 市)	5% (2 市)
委員定数 (平均)	8.5 人 (最小 7 人 ~ 最大 12 人) 予算・決算の常任委員会定数を除く。			

6 委員会の 2 市は、予算・決算の常任委員会(2 委員会)を設置しており、委員の複数所属あり。

(資料7) 特例市 40 市における常任委員会の審査状況

(平成 23 年 1 ~ 12 月)

	特例市 40 市の平均	明石市
開催日数	36.8 日	26 日
開催時間	58 時間 35 分	75 時間 9 分

(資料8) 明石市における常任委員会(協議会)における審査状況について

(平成 23 年実績)

	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	生活文化 常任委員会	建設企業 常任委員会
定数	8 人	8 人	8 人	7 人
事業数	190 事業	430 事業	181 事業	156 事業
議案数	18 議案	53 議案	16 議案	37 議案
開催回数	7 回	7 回	7 回	9 回
審査時間	12 時間 38 分	23 時間 18 分	18 時間 07 分	23 時間 47 分

他に、決算審査特別委員会、総務分科会、文教厚生分科会、生活文化分科会、建設企業分科会、第 5 次長期総合計画特別委員会、議会運営委員会などの会議がある。

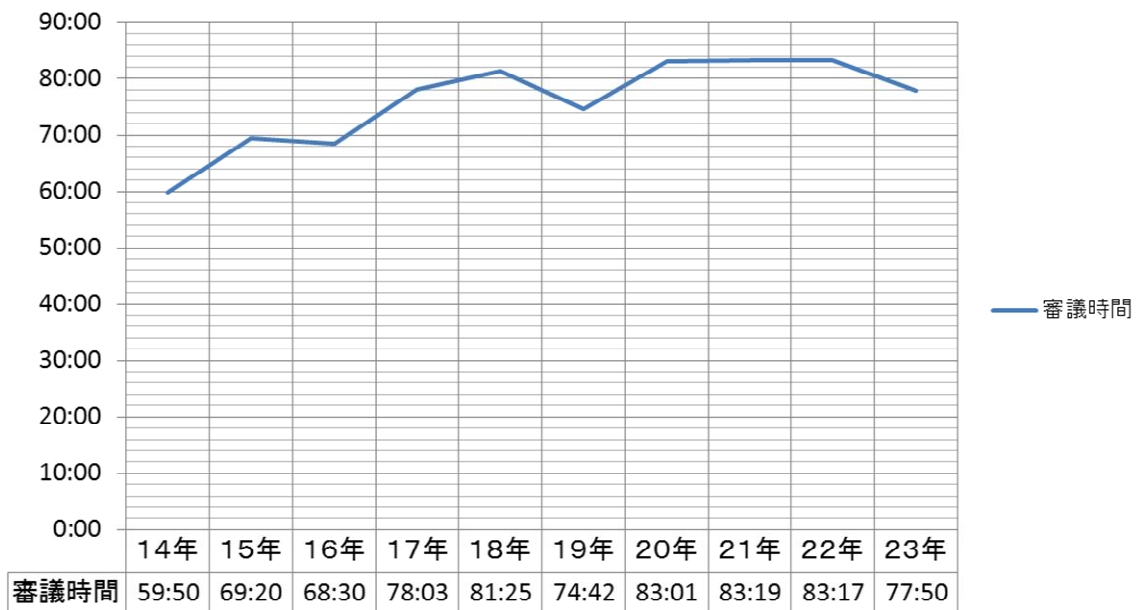
事業数は平成 23 年度予算における事業

議案数、開催回数、開催時間は平成 23 年 1 月 ~ 12 月実績

委員協議会とは、非公式の会議として公開せずに開催したものをいう。

(資料9) 明石市における常任委員会の審査時間の推移について

常任委員会における審議時間の推移



二元代表制のもと、市議会は市政に対する監視、調査を的確に行い、適正な執行を確保する大きな役割があることから、市政運営に対する監視機能強化を論点とし、議員一人当たりの財政規模や議決数、修正議決数等を指標としている。

【現 状】

- ・平成 24 年度当初予算における明石市の議員一人当たりの財政規模（一般会計）は、30 億 3,784 万 8 千円で、県内 29 市中 5 位、特例市 40 市中 10 位である。
- ・特例市 40 市の議員一人当たりの財政規模の平均は、27 億 2,847 万 3 千円（最低 17 億 9,687 万 5 千円、最高 39 億 7,429 万 1 千円）となっており、明石市は平均より高い値となっている。
- ・特例市 40 市における平成 23 年の議案の議決状況では、すべて原案可決した市が 33 市、修正可決のあった市が 4 市、否決のあった市が 3 市となっている。明石市は修正可決を 2 件行っている。

【特別委員会での意見】**定数減に関連する意見**

- ・極端に定数削減をすると議会として機能しなくなる恐れがあるので、減とするならば 1 人か 2 人の削減とするべき。

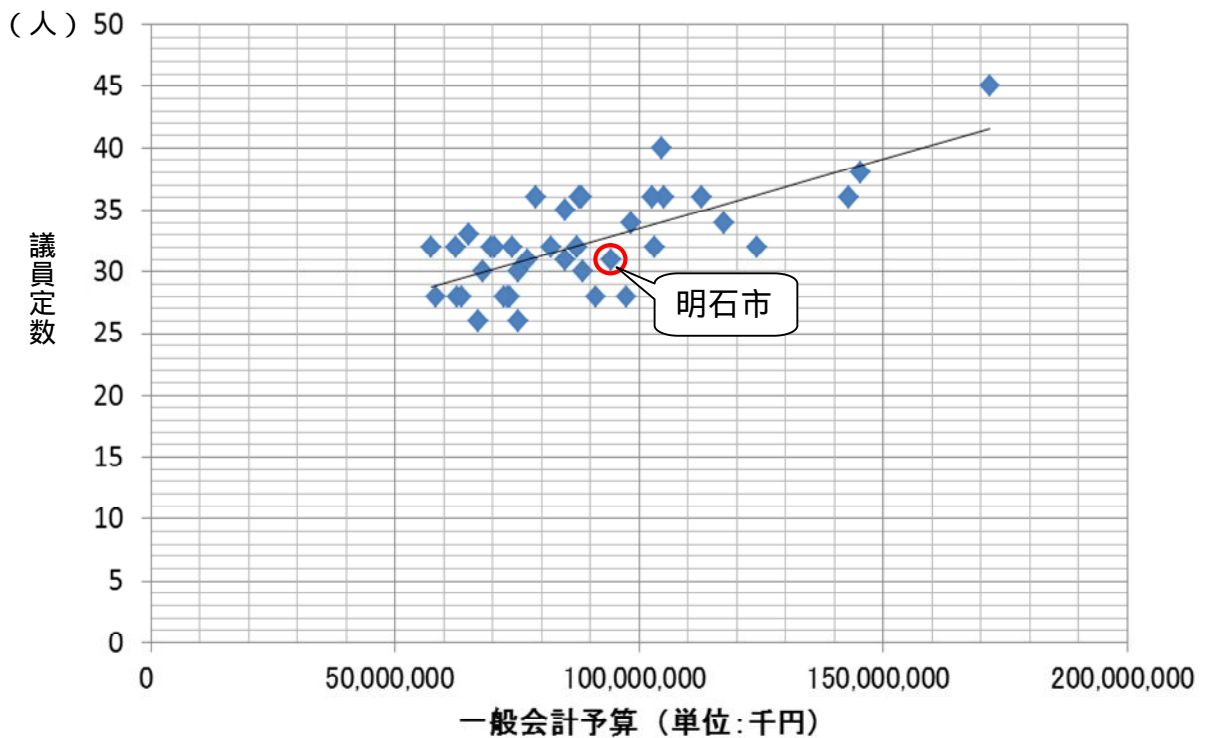
現状維持に関する意見

- ・人口減少傾向の中、定数見直しは意義があるが、今の市政運営の状況の中で定数を減らすことは、民意の反映にとってマイナスであるため、削減はできない。
- ・市政運営の監視機能強化の観点から、定数は現状を維持する。その代わりに、報酬総額が定数を削減した場合と同じになるように、議員報酬を削減してはどうか。

定数増に関連する意見

- ・市の役割が肥大化している中で、ますます議会の監視機能が求められている。監視機能強化のためには、議員数は多い方がよい。

(資料 10) 特例市 40 市における一般会計予算規模と議員定数の分布



(資料 11) 特例市 40 市における議案 (市長提案) の議決状況

(平成 23 年 1 ~ 12 月)

議決状況	該当市
すべて原案可決	33 市
修正可決あり	4 市 (明石市含む)
否決あり	3 市
修正可決・否決の両方あり	0 市

(資料 12) 明石市における議案の議決状況

(平成 23 年 1 ~ 12 月)

	原案可決	修正可決	否 決	議案合計
明 石 市	138 件	2 件	0 件	140 件

論点 4

県内各市、特例市との比較について

県内各市や人口規模、財政規模が類似している特例市と比較して、明石市の現状を分析する必要があることから、県内各市、特例市との比較を論点としている。

【現 状】

- ・平成 24 年 4 月 1 日現在の県内 29 市、特例市 40 市の議員定数の状況は資料 13、資料 14 のとおりである。議員定数は、県内 29 市中 5 番目、特例市 40 市中 25 位となっている。
- ・定数については、特例市 40 市中、平均よりやや少ない状況となっている。

【特別委員会での意見】

- ・特例市と比較して明石市が突出した形にすべきでない。
- ・特例市も県庁所在地や大都市近郊にあるなど様々な状況があるため、一概に特例市との比較だけで判断するのはどうか。
- ・他市と比較して突出してもよいのではないか。

(資料 13) 県内 29 市との比較

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	人口	定数	議員一人当たり人口	議員一人当たり財政規模	議員一人当たりの面積
明石市	290,493 人	31 人	9,371 人	30 億 3,784 万円	1.59 km ²
県内 29 市平均	183,910 人	25.2 人	5,355 人	21 億 8,209 万円	10.08 km ²
明石市の順位	5 位	5 位	5 位	5 位	25 位

(資料 14) 特例市 40 市との比較

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	人口	定数	議員一人当たり人口	議員一人当たり財政規模	議員一人当たりの面積
明石市	290,493 人	31 人	9,371 人	30 億 3,784 万円	1.59 km ²
特例市平均	269,678 人	32.2 人	8,310 人	27 億 2,847 万円	6.77 km ²
明石市の順位	10 位	25 位	11 位	10 位	32 位

明石市の厳しい財政状況を踏まえて、定数を考えることも必要なことから、財政状況から見た定数を論点としている。

【現 状】

- ・平成 24 年度一般会計当初予算に占める議会費の割合について、明石市は 0.69%、特例市 40 市の平均は 0.68%(最高 0.91%、最低 0.41%)となっており、明石市は 40 市中 21 位である。
- ・人口が増えることに比例して、議会費の割合は減るが、明石市は特例市の中では、ほぼ平均となっている。

【特別委員会での意見】**定数減に関連する意見**

- ・財政危機の時代であり、議会費についても経費の削減が求められている。

現状維持に関する意見

- ・現在の定数となったのは平成 15 年であるが、当時の熱心な議論の中で市の行財政改革にあわせて 31 人という答えが出されたことを踏まえて、現状維持とする。

定数増に関連する意見

- ・市議会の予算である議会費全体の状況を踏まえて、様々な工夫をしていくべきである。定数を増やす場合は、報酬は削減し、議会費全体としては現状維持か減少させるなど、報酬削減とセットで議論しなければならない。
- ・議員報酬をどのくらい減らせるか議論して、その上で定数をどのくらい増やせるか議論してもよいのではないか。例えば、報酬を 3 割減らすことによって、定数を 41 人にすることも考えられる。

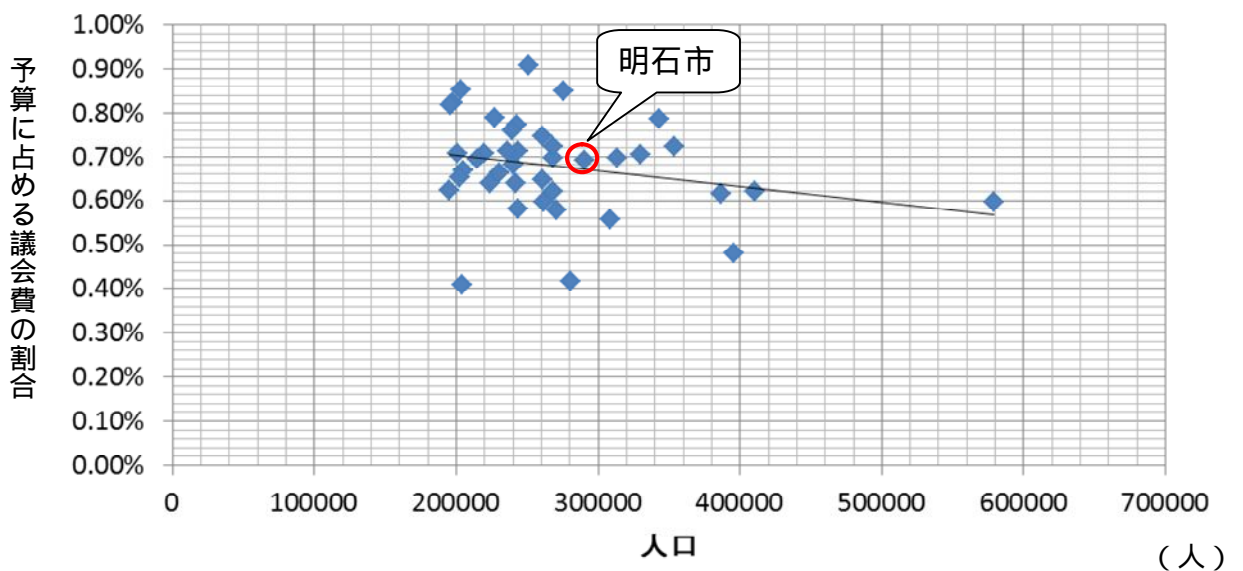
その他の意見

- ・ 財政状況は考えるべき点であるが、歳出削減という観点のみにとらわれて議員定数の議論をすべきでない。
- ・ 議会としてどれだけ費用が発生しているか、視察費用なども含めて検討してはどうか。
- ・ 議員定数を増やして議員報酬を削減する場合は、安定した収入がある中で議員活動ができるよう、議員の兼業禁止規定などを見直す必要があるのではないか。

(資料 15) 特例市 40 市における一般会計予算に占める議会費の割合

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	特例市 40 市の平均	明石市
一般会計予算に占める 議会費の割合	0.68% (最高 0.91%) (最低 0.41%)	0.69%



市民アンケートや議会報告会などで出された市民の意見を尊重して、市民意見の反映を論点としている。

【現 状】

- ・市民アンケートを実施したが、議員定数や報酬について、厳しい意見が出ている。(2ページ、3ページの資料2参照)

【特別委員会での意見】

定数減に関連する意見

- ・市民アンケートからすると現状維持は困難ではないか。定数削減の方向で検討すべきである。
- ・市民アンケートを含めて、市民から議員数が多いという声があるので、減らすべきである。
- ・議員の人数を減らすと、一人一人の議員の顔や活動が見えやすくなるのではないか。
- ・議会活性化の観点では議員が多い方がよいが、市民意見を考慮するなら、ぎりぎりのところで29人か30人とする。
- ・市民に提案し議論するなら、市民アンケートの回答で多かった定数25人をも一つの案として出してもいいのではないか。

現状維持に関する意見

- ・市民アンケートでは、議会に関心のある市民の中では、定数は現状のままでもよいとする回答が多くあった。

定数増に関連する意見

- ・世論では感覚的に捉えられることが多く、特別な理由があるわけではないが、議員数が多いと言われている。必要であれば、報酬を減らしてでも、定数は現状維持もしくは増やしてもよい。
- ・市民アンケートで議会のことがわからないという意見が多かったのは、今までのやり方がだめだったと言えるのではないか。報酬を減らして定数を増やすことも考えるべきである。
- ・市民アンケートの中に、今のままの議会ではいけないという意見が多かった。それを改善するためには定数を増やすという考え方もできるのではないか。

その他の意見

- ・昨年度の議会報告会でも議員の数は増やしてもいいという意見が複数出されていた。市民アンケートの結果だけにとらわれるべきではない。
- ・議会審議の充実等を考えると、削減ありきの世論に流されるだけがよいとは限らない。
- ・市民アンケートの対象は3千人で人口の1%、その回答率は50%以下であり、これを民意として議論するのは危険ではないか。

論点 7

小学校区などの市域に応じた定数について

小学校区単位のまちづくり、地域運営が重視されている中、独自のコミュニティを形成している小学校区単位の多様な住民意見を反映することが必要であることから、小学校区などの市域に応じた定数を論点としている。

【現 状】

- ・明石市の現在の小学校区数は 28 である。

【特別委員会での意見】

定数減に関連する意見

- ・小学校区当たり議員 1 人と考えて定数を 28 人とする案は、一定の根拠となるが議論を深める必要がある。
- ・小学校区は地域コミュニティの拠点となっており、また、議員活動の一つの基盤ともいえる。各小学校区の人口が大体 1 万人前後であることを考慮し、小学校区当たり議員 1 人とする根拠と考える。(4 ページの論点 1 の意見を再掲)

その他の意見

- ・校区ごとに市民の数も異なるので、小学校区当たり議員 1 人とする考え方は難しい。
- ・議員活動が校区にしばられるイメージがあって、よくないのではないか。

2 議員報酬について

明石市議会の議員報酬の変遷

- ・ 議員報酬は、昭和 43 年以降、明石市特別職報酬等審議会の答申に基づき改正されており、直近では平成 24 年 4 月に減額改定されている。
- ・ 議員報酬の変遷は下表のとおりである。
- ・ 現在の報酬は、平成 24 年 2 月に明石市特別職報酬等審議会からの答申を受け同年 3 月議会で議決され決定した。

(資料 16) 明石市議会の議員報酬の変遷

(単位：円)

適用年月日	議長	副議長	議員	市長(参考)	副市長(参考)
昭和 38 年 12 月 1 日	80,000	70,000	60,000	140,000	120,000
昭和 43 年 4 月 1 日	150,000	130,000	100,000	250,000	220,000
昭和 47 年 1 月 1 日	180,000	160,000	140,000	300,000	250,000
昭和 48 年 12 月 1 日	250,000	225,000	200,000	430,000	350,000
昭和 50 年 12 月 1 日	320,000	290,000	260,000	550,000	450,000
昭和 52 年 12 月 1 日	370,000	335,000	300,000	630,000	520,000
昭和 54 年 12 月 1 日	450,000	410,000	370,000	700,000	575,000
昭和 57 年 6 月 1 日	495,000	451,000	407,000	769,000	632,000
昭和 59 年 4 月 1 日	517,000	471,000	425,000	800,000	660,000
昭和 61 年 4 月 1 日	586,000	534,000	482,000	907,000	748,000
昭和 63 年 4 月 1 日	640,000	584,000	527,000	990,000	817,000
平成 2 年 4 月 1 日	705,000	643,000	580,000	1,089,000	899,000
平成 4 年 4 月 1 日	776,000	707,000	638,000	1,198,000	989,000
平成 6 年 4 月 1 日	798,000	727,000	656,000	1,231,000	1,016,000
平成 19 年 4 月 1 日	718,000	668,000	623,000	984,800	863,600
平成 21 年 4 月 1 日	765,000	697,000	629,000	1,137,000	939,000
平成 23 年 7 月 1 日	765,000	697,000	629,000	1,137,000 (給与カット後 795,900)	939,000
平成 24 年 4 月 1 日	732,000	667,000	602,000	1,084,000 (給与カット後 758,800)	895,000 (10月1日 給与カット後 751,800)

平成 19 年 4 月は、職員給与の 2 年間削減とあわせて、議員報酬も削減した。

[用語解説] 明石市特別職報酬等審議会とは

12人以内の市民等で構成され、公平、公正な立場で市長等特別職の報酬等のあり方を審議する市長の諮問機関である。議員の報酬についても、市職員の給料や他都市との均衡を考慮して答申を行っている。

市民アンケートの結果（議員報酬に関する回答）から

（資料17） 市民アンケートの結果（議員報酬に関する回答）

ア）議員報酬の認知度

知っている	114人	7.8%
知らない	1,328人	90.4%
無回答	27人	1.8%

イ）議員報酬に対する評価

適当である	177人	12.0%
多い	885人	60.2%
少ない	17人	1.2%
わからない	355人	24.2%
無回答その他	35人	2.4%

- ・議員報酬については、知らないと答えた人が1,328人（90.4%）であったが、議員報酬が多いと答えた人が885人（60.2%）となっている。
- ・市議会活動に不満がある人、市議会議員活動を評価しない人ほど、議員報酬が多いと答えた割合は高くなっている。

議員報酬の検討の論点

特別委員会では、議員報酬を検討するに当たり、昨年 12 月に実施した市民アンケート結果のほか、県内 29 市及び特例市 40 市の状況調査（人口、議員報酬、議会費等）に基づく他市との比較を行った。

その結果、以下の 4 項目の論点に絞って、検討を進めている。

【議員報酬の検討の論点】

- 論点 1 特別職報酬等審議会との関係について
- 論点 2 県内各市、特例市との比較について
- 論点 3 市の財政状況から見た報酬について
- 論点 4 議員活動から見た報酬について

論点 1

特別職報酬等審議会との関係について

議員報酬については、従来から特別職報酬等審議会（以下「報酬等審議会」という）の答申に基づき、改定が行われてきたことから、報酬等審議会との関係を論点としている。

【現 状】

- ・昭和 43 年以降、平成 19 年 4 月の自主的な報酬の削減を除いて、報酬等審議会の答申に基づき、議員報酬の改定がなされている。

【特別委員会での意見】

報酬等審議会の答申を尊重すべき

- ・平成 24 年 4 月に報酬改定をしたが、市民も入った報酬等審議会で審議されており、民意は反映されているので現状でよいと考える。
- ・公平な第三者である外部の報酬等審議会の議論に委ねるべき。
- ・報酬等審議会での議論は、一定程度参考にするべきである。

報酬等審議会の答申とは別に議論すべき

- ・報酬等審議会の答申に従うというのでは、市民がなかなか認めてくれない。それだけでいいのかという議論がある。
- ・報酬等審議会に委ねるのではなく、議員自らが考え、議員としての姿勢を示すべきである。
- ・報酬等審議会は公平かもしれないが、答申を見ると、従来の形を抜け切れていない。報酬等審議会から議会の意見を求められたこともない。報酬等審議会のあり方を問うべきである。
- ・報酬等審議会では政治的な判断ができず、従来からの他市比較論が主となっているため、議員自ら議論し、市民に説明すべき。
- ・議員で決めた額を報酬等審議会にはかかってもらうということは考えられるが、全面的に委ねるのはいかななものか。議員自らが考えていくべきである。

その他の意見

- ・報酬等審議会の委員と議員とで意見交換会をしてはどうか。
- ・議会の現状を知ってもらうために、報酬等審議会に議員のOBを入れてはどうか。

県内各市や人口規模、財政規模が類似している特例市と比較して、明石の現状を分析する必要があることから、県内各市、特例市との比較を論点としている。

【現 状】

- ・明石市の議員報酬月額は、議長 73 万 2,000 円、副議長 66 万 7,000 円、議員 60 万 2,000 円である。
- ・議員報酬を比較すると、明石市は、県内 29 市中 6 番目、特例市 40 市中 5 番目に高い。
- ・人口 20 万人以上 30 万人未満の 45 市における議員の平均報酬月額は、議長 67 万 8,300 円、副議長 60 万 8,200 円、議員 55 万 9,300 円であり、明石市の議員報酬は、議長 7.9%、副議長 9.7%、議員 7.6%、それぞれ高い状況にある。
- ・特例市 40 市における平均報酬月額は、議長 64 万 4,000 円、副議長 58 万 4,000 円、議員 54 万 5,000 円であり、明石市の議員報酬は、議長 13.7%、副議長 14.2%、議員 10.5%、それぞれ高い状況である。
なお、特例市の議員報酬の最高額と最低額は資料 18 のとおりである。
- ・全議員の議員報酬月額の総額でみると、資料 19 のとおり、明石市は 1,885 万 7,000 円、特例市の平均は 1,778 万 6,000 円となっている。明石市は議員定数が平均以下のため、全議員の報酬総額で比較すると、平均に近い額となっており、特例市中 8 番目である。

【特別委員会での意見】**報酬減額に関連する意見**

- ・報酬の額としては、特例市や近隣市との比較から、少なくとも 60 万円は切る必要があると考える。

報酬現状維持に関する意見

- ・人口規模からみても現状でよいと考える。

その他の意見

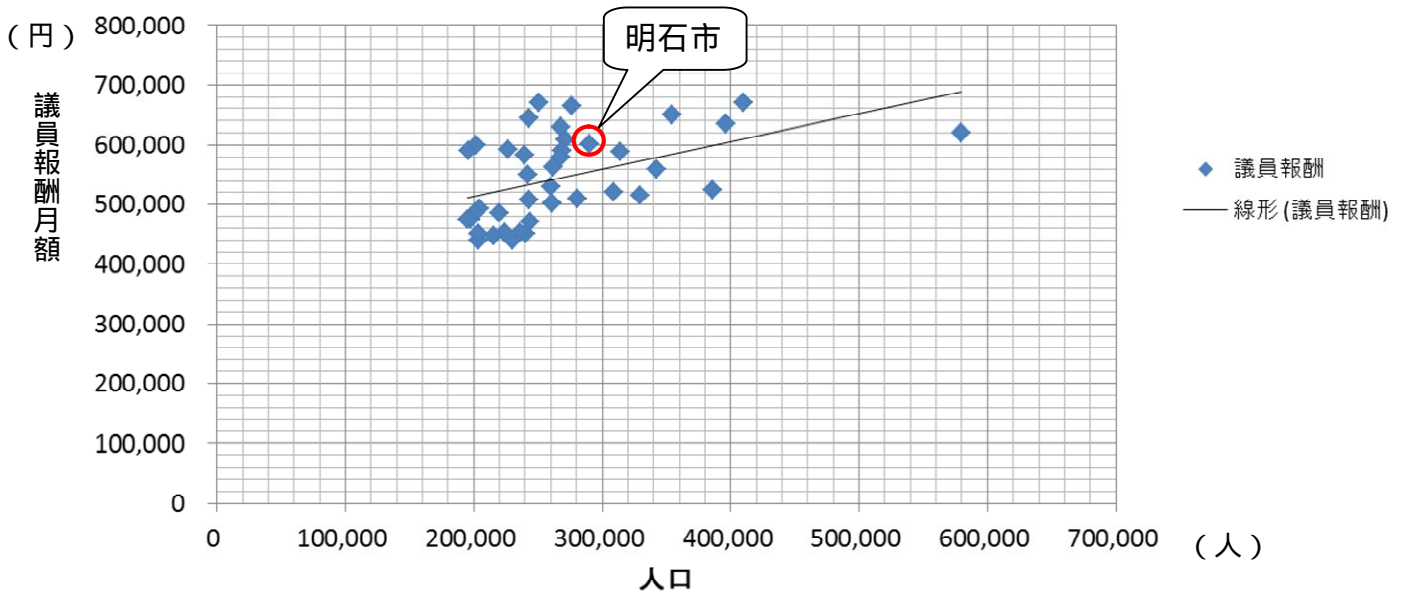
- ・報酬についても、定数と同様に、他市との比較にこだわらず、必要性について議論して案を出すべきである。

(資料 18) 特例市における議員の平均報酬月額

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	報酬月額		
	議長	副議長	議員
特例市 平均	64 万 4 千円 (最高 77 万円) (最低 52 万 7 千円)	58 万 4 千円 (最高 72 万 7 千円) (最低 46 万 6 千円)	54 万 5 千円 (最高 67 万円) (最低 43 万 8 千円)
明石市	73 万 2 千円	66 万 7 千円	60 万 2 千円

千円未満切り捨て



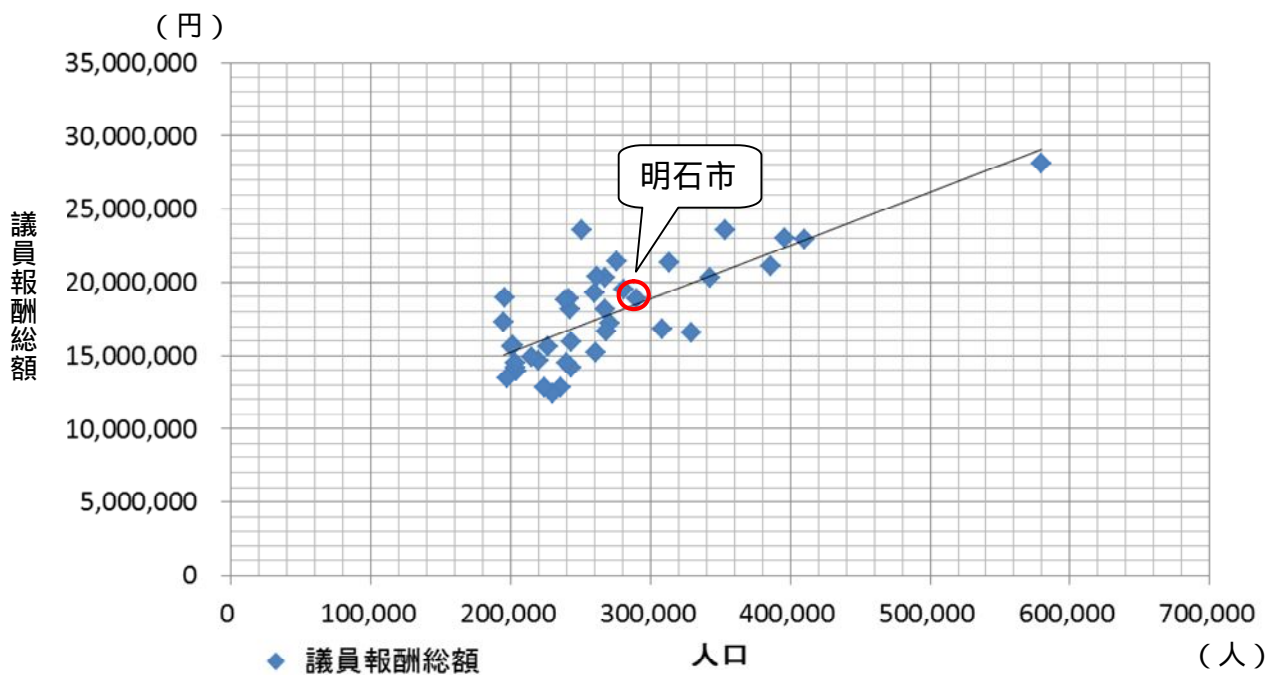
(資料 19) 特例市における議員報酬月額総額の総額

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

$$\text{議員報酬月額総額の総額} = \text{正副議長報酬月額} + \text{議員報酬月額} \times \text{議員数}$$

議員報酬月額総額の総額	
特例市平均	1,778 万 6 千円 (最高 2,809 万 5 千円) (最低 1,242 万 9 千円)
明石市	1,885 万 7 千円

千円未満切り捨て



明石市の厳しい財政状況を踏まえて、報酬を考えることも必要なことから、財政状況から見た報酬を論点としている。

【現 状】

- ・平成 24 年度一般会計当初予算 941 億 7,327 万 9 千円のうち、議会費は 6 億 5,109 万 4 千円である。
- ・一般会計当初予算に占める議会費の割合については、明石市は 0.69%、特例市 40 市の平均は 0.68%（最高 0.91%、最低 0.41%）となっており、明石市は 40 市 21 位である。

【特別委員会での意見】**報酬減額に関連する意見**

- ・厳しい財政状況を考えると、議会費についても削減が求められている。
- ・議会費全体の状況を踏まえて、様々な工夫をしていくべきである。定数を増加させる場合は報酬を削減し、議会費全体としては現状維持か減少させるなど、定数と報酬はセットで議論しなければならない。（14 ページの論点 5 の意見を再掲）

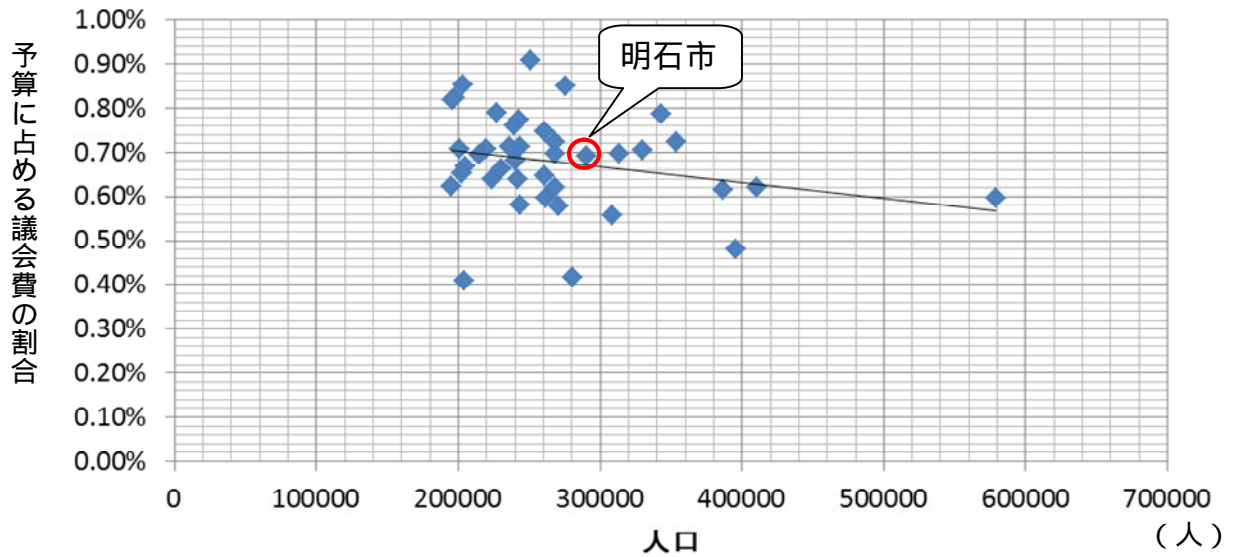
その他の意見

- ・議会としてどれだけ費用が発生しているか、視察費用なども含めて検討してはどうか。（15 ページの論点 5 の意見を再掲）

(資料 20) 特例市 40 市における、一般会計予算に占める議会費の割合 (再掲)

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

	特例市 40 市の平均	明石市
一般会計予算に占める 議会費の割合	0.68% (最高 0.91%) (最低 0.41%)	0.69%



論点 4

議員活動から見た報酬について

議員活動に値する報酬額という観点も必要であるため、議員活動から見た報酬を論点にしている。

【特別委員会での意見】

報酬減額に関連する意見

- ・本来求められる議員活動の内容や活動時間について精査し、それに応じた対価としての報酬を議論することで減額も考えられるのではないかと。

報酬現状維持に関する意見

- ・子育て世代の人がこれから議員になろうとした場合、報酬を減らされて果たしてやっていけるのか、議論すべきである。
- ・議員報酬は、任期4年間だけに保障されるものであり、退職金もなく、議員年金制度も廃止されている。また、期数、年齢に関係なく全議員が同じ報酬である。こうした状況を踏まえて考える必要がある。

その他の意見

- ・報酬については、若い人たちが専業で議員をすることも考え、社会情勢に合わせて削減をするということではなく、明石にとってためになる議員がどれだけ増えるかなど、広く考える必要がある。

おわりに

議員定数、報酬の考え方については、二元代表制における市議会の役割や常任委員会のあり方も踏まえ、市議会活性化特別委員会において議論を重ねています。

その議論の中では、昨年度に実施した市民アンケートの厳しい結果や市の財政状況を踏まえ、議会自ら身を削るべきであるとの意見が出される一方、多様な市民意見の反映と市政に対する監視機能を強化するためには、一定の議員数を確保することが必要であるという意見も出されております。

また、市民アンケートにおいて「議会の姿が見えない」、「議員の活動が見えない」という声が多かったことを踏まえ、まずは、開かれた議会を実現するための取り組みを強化し、市民に対する議会の認知度を高めるべき、との意見も出されました。

これらの議論を踏まえ、議員定数、報酬はどうあるべきか、何をその基準と考えるべきかについて、特別委員会として様々な角度から検討しています。本年11月には、議会報告会において、議会としての議員定数、報酬の考え方を示したうえで、市民との意見交換をする予定です。

今後、議員定数、報酬については、これまでの議論や議会報告会での市民意見を踏まえてさらに検討し、平成24年度中に一定の結論を出すことを目指しています。

明石市議会活性化特別委員会

委員長	梅田	宏希
副委員長	井藤	圭湊
委員	宮坂	祐太
委員	尾倉	あき子
委員	樽谷	彰人
委員	永井	俊作
委員	辻本	達也
委員	山崎	雄史
委員	深山	昌明
委員	木下	康子